

ヒアリングについて

ヒアリング調査を9月から12月にかけて実施いたしました。

【保育所】

3箇所 63人

【学 校】

15箇所 311人

【放課後児童クラブ、児童館、放課後デイサービス、こども食堂】

6箇所 67人

【子育て広場、地域子育て支援拠点施設】

3箇所 28人

【夜間巡回によるヒアリング】

18人

【その他団体】

3箇所 3人

(ひきこもり者支援、発達障害者支援、青少年育成団体)

計30箇所 490人

主に

・居場所について

・大人への意見表明について 等 フリーディスカッション形式で意見を聴取しました。

次ページ以降に、主な意見をまとめております。

御協力ありがとうございました。



ヒアリングで集まった意見

保育所、認定こども園のこどもの意見

何をしているときが楽しいですか。

- ・ プール、お絵かきなど保育園、こども園での遊び
- ・ ゲーム
- ・ 本を読む
- ・ 友達と遊ぶ
- ・ 旅行など家族で遊ぶ
- ・ スマホで遊ぶ
- ・ 近所の夏祭り

家の人など大人とお話しますか。

- 『話をする』の回答が多く
『あまりしない』『ほとんどしない』
の回答は少なかった。
- ・ 近所の人とあいさつする

どんなところで遊びますか。

- ・ 海など外で遊ぶ
- ・ 公園で遊ぶ
- ・ 遊園地など商業施設
- ・ 近所



ヒアリングで集まった意見（居場所について）

小学生以上からの意見

「好きな場所や居場所と感じるところはどんなところですか」

- ・学校の体育館や図書館、教室など
運動ができる、友達といられる、人が少ないところが落ち着くなど
- ・通学路
友達と話できる
- ・家
好きなこと（ゲーム、ネット、勉強など）ができる
安心する、家族といられる、一人の時間が持てる
- ・自分の部屋
一人でゆっくりできる、落ち着く
- ・おじいちゃん、おばあちゃんの家
家族と喧嘩したとき、落ち着く、小遣いをもらえる
- ・公園、図書館、児童館
いろんな遊びができる、静かに本が読める、友達がいる
- ・塾など習い事
勉強ができる、先生や友達などいろんな人と会える
好きなことに集中できる
- ・アミューズメント施設など
ゲームなど楽しい・特別感がある、いろんな食べ物がある
いやなことが忘れられる
- ・海、山、川など
落ち着く、生き物がいる、静か
- ・友達といるところ
楽しい、話ができる、友達といれば場所はどこでもOK

「どんな居場所があったらいいと思いますか」

- ・テーマパーク、遊園地、商業施設
こどもでも楽しめる、いろんな店がまとまった施設
- ・設備などが充実した公園、グラウンドなど
公園があっても狭い・遊具が少ない
- ・屋内公園など、屋根のある遊べる場所
暑い、雨でも遊べる
- ・こどもしか入れない場所
親がいると不自由、こどもが遊べるところが家か公園しかない
- ・図書館
勉強ができる場所、近くにない、遅くまで開いているところがほしい



ヒアリングで集まった意見（大人への意見表明について）

小学生以上からの意見

「大人に意見を言えていますか」

◇言えている

- ・ 親など家族（普段話しているから、親から聞いてくる聞してくれる）
- ・ 先生（フレンドリー、相談すればすぐ対応してくれる）
- ・ 自分自身のことを話してくれる人には話しやすい
- ・ うなずいたり聞いている感じのする人には話しやすい

◇言いにくい

- ・ 緊張する（知らない人は特に）
- ・ おこる、怒られそう
- ・ 反論される
- ・ 最後まで聞いてくれない
- ・ 相談しても対応してくれない

「どんなことを大人に言いたいですか」

- ・ こどもに愚痴を言わないでほしい
- ・ 兄弟姉妹で比べないでほしい
- ・ 自分のことを棚に上げて説教しないでほしい
- ・ もっと話を聞いてほしい
- ・ 必要な時だけ出てきてほしい

「どうすれば大人に意見を言いやすいですか」

- ・ 対面
（意見を言った際の）反応が欲しい、顔を見て話したい
- ・ 意見箱など、匿名でできるものが良い
- ・ オンライン
言いたいことを整理してから伝えたい
- ・ 同等の立場で聞いてほしい
馬鹿にしないでほしい、寄り添ってほしい
こどもの立場に立ってほしい、すぐ否定しないでほしい
尊重してほしい
- ・ 一対一、少人数で話した方が言いやすい
- ・ こどもの数のほうが（大人の数より）多い

ヒアリングで集まった意見

子育て当事者の意見

子育てをされていて思うことはどんなことですか。

- ・ こどもが遊べる場所が少ない。公園があっても遊具が壊れていたりトイレがなかったり整備されていない。
- ・ 子育てのしんどさを吐きたいが弱音を吐きづらい
- ・ 中学生ぐらいで支援がなくなる。
- ・ 息抜きできる場所が欲しい。一時保育も仕事で理由でなければ利用に負い目がある。
- ・ 親（子育てしている方の親）が近くにいても、いつでもこどもを預けられるわけでない。親が厳しい。
- ・ 親の意見をちゃんと行政に知ってほしい。行政に言っても何も変わらないというあきらめもある。

どのような子育て支援があればいいと思いますか。

- ・ 一時預かりを無償にしてほしい
- ・ 急にでも預けられるところ、夜でも一時預かりできるところ
- ・ おむつ代などの金銭支援
- ・ 家に来て育児指導してくれたのが良かった。

子育て支援情報は得られていますか。

- ・子育て情報が欲しいが自治体のホームページは堅くて分かりにくく、子育て支援情報がよく分からない。
- ・口コミで情報を得ている。
- ・子育て支援拠点で教えてもらう。
- ・InstagramなどのSNSやインターネットで調べる。
- ・図書館などのイベント
- ・妊娠中に子育て支援情報冊子をもらっても、必要になるのは数年後。情報渡されるときと必要な時にタイムラグがある。
- ・支援制度の使い方が分からない

子育て支援拠点に行く目的、理由はなんですか。

- ・こどもが行きたがる。
- ・自分のリフレッシュ
- ・いろんな情報が聞ける。
- ・ママ友ができる。
- ・子育てのしんどさを分かってくれる、子育てはすごいことだという前提で話してくれる
- ・孤独感が子育てで一番つらい。親同士のつながりができる。



ヒアリングで集まった意見

子育て支援者の意見

子育て支援に携わっていて思うこと

- ・少しでも時間があればスマホやゲームに触るこどもが増えた。
- ・ゲーム、スマホのこどもへの影響を親が学ぶ必要がある。害について知っているのと知らないのでは対応が違ってくるはず
- ・こどもの個性を活かせるような保育が必要になってきている。
- ・子育ての情報が多すぎて保護者も困っているのではないか。
- ・保育士の人手不足が深刻

